

第 59 回

# 高知市文化祭

## 報告書

[平成 19 年度]

**出品**

- 搬入日 5月20日(日)・21日(月) 午前9時～午後5時
- 搬入場所 かるぽーと7階市民ギャラリー
- 出品料 1部門 一般 1,500円 学生 1,000円

第59回  
**市展**  
デザイン  
ペン字  
写真  
工芸  
陶芸  
彫塑  
先端美術(立体)  
書道  
日本画  
絵画(洋画)

**Independent**

2007年5月26日(土) ▶ 6月10日(日) [ただし、月曜日は休館]

**開催時間** 午前9時～午後7時まで (初日は午前10時開場、最終日は午後5時で終了です)

**入場料** 前売 300円・当日 400円  
〔高齢者・障害者・精神障害者保健福祉手帳・身体障害者手帳所持者、及び高校生以下は無料〕

**会場** 高知市文化プラザかるぽーと7階市民ギャラリー

お問い合わせ 市展事務局 (財)高知市文化振興事業団 883-8071

主催 / 高知市文化祭実行委員会、(財)高知市文化振興事業団、高知市教育委員会  
協賛 / 高知市商工会、高知市観光協会、高知市文化芸術交流センター、高知市文化芸術交流センター、高知市文化芸術交流センター

第 59 回高知市展チラシ

高知市文化祭執行委員会



# 目 次



高知市文化祭執行委員名簿	.....	2
高知市文化祭主催行事	.....	3
高知市文化祭参加行事数・入場者数	.....	5
参加行事報告		
映像部門参加行事	.....	6
演劇部門参加行事	.....	7
音楽部門参加行事	.....	9
舞踊部門参加行事	.....	13
展示部門参加行事	.....	15
文芸部門参加行事	.....	16
その他の参加行事	.....	17

## 第59回高知市文化祭執行委員会

区 分	氏 名	備 考	
顧 問	廣 松 ひとし	人形劇団ピコロ座代表	
芸 術 文 化 部 門	映 画	坂 本 昌 隆	映像芸術研究家
	音 楽	森 尾 靖 峰	高知県三曲協会会長
		山 下 佳 邦	高知交響楽団団長
		高 橋 輝 雄	高知県民謡協会会長
		上 本 竹 永	高知県吟剣詩舞道総連盟事務局長
	舞 踊	花 柳 昌 延	高知県日本舞踊協会会長
		立 脇 千 賀 子	立脇千賀子バレエ研究所主宰
	演 劇	吉 本 智 賀 子	劇団ゆまにて代表
		北 村 絵 理	NPO法人高知市こども劇場副理事長
	文 芸	島 総一郎	高知ペンクラブ事務局長
	華 道	立 石 一 有	高知県華道協和会理事
	能 楽	葛 目 雄 三	高知能楽会代表理事
	市 展	濱 田 尚 川	高知市展代表委員長
	まんが	山 北 美 砂 子	高知漫画集団事務局
	県立美術館	河 村 章 代	高知県立美術館学芸員
文化協会	森 田 悦 男	高知市文化協会代表理事	
報 道	RKC	高 木 寿 隆	高知放送営業局次長兼テレビ営業部長
	NHK	長 田 洋 治	NHK高知放送局放送部長
	高知新聞	石 川 浩 之	高知新聞社学芸部長
	高知新聞企業	雪 本 信 彰	高知新聞企業事業局長
	KUTV	岡 本 康 利	テレビ高知報道・技術センター次長
	さんさんテレビ	林 寛	高知さんさんテレビ報道制作局次長兼制作部長

委員長 花柳 昌延

副委員長 森尾 靖峰・森田 悦男

監 査 葛目 雄三・上本 竹永

第59回高知市文化祭開幕行事

# クラシックバレエ 「スプリングコンサート」



第59回高知市文化祭開幕行事 高知県バレエ協会

## スプリングコンサート

**第1部**  
高知県バレエ協会加盟会員による「バレエコンサート」  
一の宮咲子バレエ研究所 立脇千賀子バレエ研究所

**第2部**  
チャイコフスキー作曲  
くるみ割り人形より  
『クリスマス・ドリーム』  
演出・振付：坂本登喜彦

2007年  
**4月15日(日)** 開場 12:30  
開演 13:00  
●入場料 2,000円(前売り・当日とも)  
**高知市文化プラザかるぽーと**

企画制作／高知市文化協会  
高知県バレエ協会  
主催／高知市文化祭執行委員会  
高知市文化協会  
高知県バレエ協会  
主管／財高知市文化振興事業団  
高知市教育委員会  
後援団体／高知新聞社  
RKC高知放送  
NHK高知放送局  
KUTVテレビ高知  
KSSさんさんテレビ

- ◇日時 平成19年4月15日(日) 開場12:30～ 開演13:00～
- ◇場所 高知市文化プラザ 大ホール
- ◇入場料 前売・当日とも 2,000円
- ◇主催 高知市文化祭執行委員会・高知市文化協会・高知県バレエ協会
- ◇主管 (財)高知市文化振興事業団・高知市教育委員会
- ◇後援 高知新聞社・NHK高知放送局・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・KSS高知さんさんテレビ
- ◇出演 高知県バレエ協会・立脇千賀子バレエ研究所・一の宮咲子バレエ研究所  
総計 79人
- ◇入場者 801人

# 第59回 高知市展

- ◇開催日 平成19年5月26日(土)～6月10日(日)
- ◇会場 高知市文化プラザ 7階市民ギャラリー全室ほか
- ◇入場料 前売300円 当日400円 (割引券を発行)
- ◇鑑賞者 6,642名
- ◇美術体感イベント「あなたダビンチ ぼくピカソ」  
 6月3日(日)午後1時～4時 前広場+公民館施設  
 フリーパスポート500円 (5部門5ブース+2部門2ブース)



## ◇出品者・出品数・イベント

部 門	出品者 (前回)	出品数 (前回)	北見市 交流作品	美術体感イベント 参加ブース名	参加者数
絵 画	86 (74)	105 (91)	4 (4)	「今日からアーティスト!？」	1200
日本画	31 (34)	37 (38)	3 (3)		
書 道	148 (121)	148 (121)	10 (10)	「筆とあそぼう」	800
先端美術	15 (13)	16 (13)			
彫 塑	30 (31)	40 (45)		「せっこう☆メダル」	554
陶 芸	44 (43)	64 (52)	2 (2)	「粘土で遊ぼう」	216
工 芸	48 (42)	71 (71)	1 (1)	「たまねぎ黄色に染めよう」	500
写 真	73 (74)	118 (121)	10 (10)		
ペン字	108 (84)	108 (84)		「いろいろと書こう」	320
デザイン	7 (5)	7 (5)		「キーホルダー作り」	640
合 計	590 (521)	714 (641)	30 (30)		4230

文化祭参加行事数・入場者数等集計表

部 門	行事数	入場者数	参加行事助成額	行事区分
映 像	4 (5)	632 (673)	120,000 (120,000)	共 催 4
演 劇	10 (11)	5,762 (7,775)	506,000 (535,000)	共 催 7 名義共催 1 後 援 1 名義後援 1
音 楽	23 (24)	9,320 (9,613)	1,106,000 (1,362,000)	共 催 19 後 援 4
舞 踊	11 (13)	8,501 (9,973)	661,000 (530,000)	共 催 10 後 援 1
展 示	3 (5)	7,905 (9,574)	243,000 (340,000)	共 催 3
文 芸	3 (3)	713 (691)	194,000 (194,000)	共 催 2 委 託 1
その他	4 (4)	1,480 (1,324)	174,000 (290,000)	共 催 2 後 援 2
合 計	58 (65)	34,313 (39,623)	3,004,000 (3,355,000)	共 催 47 名義共催 1 後 援 8 名義後援 1 委 託 1

( ) 内は前回の実績数

※「その他」部門への文化祭参加興行映画の入場者数は、この集計には含まれておりません。

## 映像部門

行事名	MOVIE JUNKY 第192回上映会「パブリカ」		
日・時	4月10日(火) 14:00～計4回		
会場	県立美術館ホール	入場者	135人
主催	MOVIE JUNKY／西川泉		

アンケートより「音がリアルで絵がキレイ」「極彩色に染めあげる事に精通してるのが素晴らしい」「クオリティの高さを感じる」「現実からトリップしたような考えもつけないアイデアのオンパレードでした」等、良い評価だった。今敏監督のアニメーション映画は、今回で4作品目だが、ずっと上映してきてアニメ表現の技術的にみてもこれまでで最高の出来だった。もっと多くの人に観て欲しかった。

行事名	シネマな夜VOL.86「敬愛なるベートーヴェン」		
日・時	4月27日(金) 13:20～計4回		
会場	県立美術館ホール	入場者	170人
主催	シネマ・サンライズ／吉川修一		

「第九交響曲」を始め、「エリゼのために」や「弦楽四重奏曲」など、ベートーヴェンの創作の画期となった作品が随所に使われ、クラシック・ファンも満足された様子。アンケートでも、どうしても観たかった作品、と書いていただいたのが主催者冥利に尽きる。映画のみならず、クラシック・コンサートなど、ジャンルを越境したパブリシティの重要性を痛感する催しとなった。

行事名	こうちコミュニティシネマ第21回上映会「ダーウィンの悪夢」		
日・時	5月15日(火) 13:00～計4回		
会場	県立美術館ホール	入場者	269人
主催	NPO法人こうちコミュニティシネマ／有光文平		

タンザニアでは、外来種の魚をヴィクトリア湖に放ったことが経済を潤す反面、環境や社会生活を悪化させ、紛争の要因にまでなっている現実が、この映画にまざまざと描かれており、この実態が決して他人事ではないということを観客に知らせることができたと思う。「考えるきっかけになった」「知るべき現実を見せてもらった」等、多くの賛辞がアンケートに寄せられた。

行事名	高知・民族文化映像研究所の映画を見る会20周年特別企画上映会 『(仮題) 姫田忠義と民映研－基層文化記録・半世紀の旅』『出雲風土記』		
日・時	6月17日(日) 13:00～・18日(月) 9:00～		
会場	自由民権記念館／草の家	入場者	58人
主催	高知・民族文化映像研究所の映画を見る会／松吉恵子		

上映作品に併せたスチールドラマは、有機酪農のハイオニアである佐藤忠吉氏(87歳)をお迎えし、姫田忠義民映研所長、渡邊進氏による鼎談を行った。高知を発祥とする「山地酪農」の歴史を聞き、「自然への畏敬の念を子供時代に育てられたことが、自分を有機農法へ向わせた」と語る佐藤氏の言葉には高知県の一次産業のありようと、子供の育つ環境づくりを考えさせる力があつた。

## 演劇部門(1)

行事名	演劇集団S.T.H.「いかげしごむ」		
日・時	5月12日～14日 20:00～21:00・15日 19:00～20:00		五台山竹林寺には、既存の劇場やホールにはない可能性がある。今回は庭園を生かし舞台に空間的広がりをもたすことができた。昨年の課題だった交通アクセスの案内にも重点をおいた。本公演がきっかけで、竹林寺を知ったという声もあり、これからも形にとらわれることなく、様々な場所で上演し、高知の良さを発見し楽しんでもらえるような舞台をつくっていききたいと思う。
会場	五台山竹林寺	入場者 169人	
主催	演劇集団S.T.H./岡村実記		

行事名	演劇センター'90公演No.49「もやしの唄」		
日・時	4月26日～28日 19:00～20:50・29日 13:00～14:50		作れない小道具集めには苦労する。四十年前の日本の生活にあった物が今簡単には見つからない。必要ないから処分したという。人間も必要なければ処分されてしまう時代かもしれない。そんな中、もやしを手づくりで作るしか能のない男の物語など受け入れられるか心配したが、自己批判的笑いと長い拍手で受け入れてくれた。また、反省は木曜金曜を満員にすることだが、難しい。
会場	薫的座	入場者 573人	
主催	演劇センター'90/帆足寿夫		

行事名	演劇集団S.T.H.&劇団MAC合同公演「おつけ」		
日・時	5月10日～11日 21:00～・12日～13日 19:30～		今回の一番の成功点は、竹林寺の林に特設ステージを作ったこと。ご理解くださった竹林寺さんには本当に感謝している。お陰で大変好評いただいた。反省点は、5月中旬にもかかわらず、公演日に冷え込み、寒い中での観劇となり、お客様には迷惑を掛けてしまったことである。今回は、野外で公演することの難しさを改めて知り、また大きな可能性も見出せた。
会場	五台山竹林寺	入場者 119人	
主催	劇団MAC/藤岡武洋		

行事名	喜多流回雪臺高知粟谷会能楽大会		
日・時	5月13日(日) 11:00～		人間の運命の凄まじい悲劇を余すところなく表現する能「景清」、人間国宝亀井忠雄師等の特別出演のためか入場数も350名余りと大変盛況であった。客席の皆さんから労いとお褒めの言葉もいただいた。能を催すことは、古典芸能に対し親しみを増すことができ、市民の文化向上に少しは貢献しているのではなからうかと自負しているが、経費がかかる点が課題である。
会場	県立美術館能楽堂	入場者 350人	
主催	喜多流回雪臺高知粟谷会/岡部徳治		

行事名	高知市民劇場第266回例会青年劇場公演「菜の花らぶそでい」		
日・時	5月23日・25日・27日 18:30～ 24日・26日 13:30～		今回の舞台は「良」「農業」「農業政策」「家族」など、そのひとつひとつが、一本の芝居になるような問題を全て盛り込んだ作品。それだけある課題を分かりやすく観せるために、九州にある農家の日々の生活を中心に、物語が創られており、より身近に感じることができた。今回は50周年記念企画として「中高生無料招待」を実施、観劇した子供たちにも得るものがあったのではないだろうか
会場	県民文化ホール(才)	入場者 3,386人	
主催	高知市民劇場/塩田正興		

行事名	高知市こども劇場高学年例会人形一座ホケキョ影絵芝居「泪鬼」		
日・時	5月25日(金) 19:00～20:00		ジャワの影絵芝居ワヤン、同じくジャワやバリで奏でられるガムラン音楽を下地に、全くオリジナルの人形・ストーリー・音楽で展開する異国情緒あふれる作品づくりは、さすがホケキョ。色彩鮮やかな影絵の世界をスクリーンの後ろ側からも鑑賞できる設定も独自のもの。人形遣い晴琉屋フン氏の口上や、せせら小梅氏の歌声もまた不思議なホケキョワールドでした。
会場	かるぽーと小ホール	入場者 155人	
主催	特定非営利活動法人高知市こども劇場/武市真寿美		

## 演劇部門(2)

行事名	高知市こども劇場低学年例会人形劇団ひとみ座「大どろぼうホッツェンプロッツ」		
日・時	5月29日(火)・30日(水) 18:30～20:00		人形劇団ひとみ座の本作、高知では4度目の上演となり、なつかしむ声もたくさん聞かれた。三世代での鑑賞も少しずつ増え始めた昨今、こども劇場とそこに参加する人たちの歴史を感じる機会でもあった。子供の冒険物語は、昔も今も人気が高い。どろぼうや、魔法使いといった変な大人の存在もまた、毒もあるが味もあり、こちらにも子供の人気が集まるのはおもしろい。
会場	県民文化ホール(グ)	入場者 690人	
主催	特定非営利活動法人高知市こども劇場／武市真寿美		

行事名	第19回高知能楽会大会		
日・時	6月3日(日) 9:00～18:00		能楽の継承と技能の向上を目的として年1回開催される本大会は、能楽会所属5会派11社中の会員が日頃研鑽した技を披露発表する場で、本年は所属会員約250名中、170名が素謡、連吟、仕舞、居囃子と各社中がそれぞれの特徴を生かして演じられ、本会の目的主旨に合致したものだった。今後もなお一層の後継者育成と愛好者の増加について、努力していきたい。
会場	県立美術館能楽堂	入場者 200人	
主催	高知能楽会／葛目雄三		

行事名	ラボ・パーティ高知地区交流発表会		
日・時	6月24日(日) 13:00～16:00		今回は、多くの来場者に恵まれた。予想外のことに對しても実行委員の中高生は落ち着いて会の運営をやりとげた。また、今夏、ホームステイに参加する中高生が、英語で「オバQ」を紙芝居にして語ったり、パフォーマンスや決意表明を見事に披露。ラボ・パーティが目指す英語力・日本語力、そして、子供たちが主役の教育力をたくさんの方に見ていただくことができた。
会場	かるぼーと11階大講義室	入場者 120人	
主催	高知ラボ・パーティ／岩本真理		

## 音楽部門(1)

行事名	関心流日本興道吟詩会高知県本部春季大会		
日・時	4月1日(日) 10:00~17:00		毎年恒例の競吟大会で、この一年間の練習の成果を競う大会であり、各ランク別に第2部(初・中・上)、第3部(奥伝)、第4部(錬師・教師)の独吟の優勝者は、7月1日の大阪本部の全国大会出場権を得るので皆さん真剣にアピールされた。また、審査員も本大会のために勉強され、公平な審査評価に努められた。入賞できなかった方も、来年は頑張るぞと、奮起されていた。
会場	高知商工会館	入場者 103人	
主催	関心流高知県本部／北山旭洲		

行事名	高知ポップス・オーケストラコンサート2007 Heart to Heart		
日・時	4月21日(土) 18:30~20:30		毎回、幅広い年齢層にご来場いただいているが、若い方が増えており大変うれしく思う。運営面では、ホール使用料の負担が大きく、当団のみならず他団体も問題としてとる。市民のためのホールであることを配慮いただき、地元の文化団体が利用しやすい環境を整えていきたい。今後も、技術の研鑽を積み飛躍をはかっていきたいと思っている。
会場	かるぽーと大ホール	入場者 855人	
主催	高知ポップス・オーケストラ／池上初枝		

行事名	創立30周年記念おしどり会民謡発表会		
日・時	4月22日(日) 12:30~16:00		30周年記念公演を無事終了。永年表彰の際は、本当に歴史を感じた。出演者は最年少2歳から最高齢88歳まで、民謡が本当に好きでたまらない仲間たち。今回も吾北より「和太鼓一番風」のメンバーが駆けつけてくださった。激しく移り変わっていく現代社会の中で、いつまでも日本中に残る民謡文化を「おしどり民謡会」は受け継ぎ、次代に歌いつないでいきたいと思っている。
会場	県民文化ホール(グ)	入場者 650人	
主催	高知民謡おしどり会／高橋輝雄		

行事名	一絃琴わくら和遊紅会演奏会		
日・時	4月22日(日) 13:30~15:30		年間を通じての地道な稽古で一絃琴の普及に努めている。今年は、種々の行事と重なり来場者が少なかったのは残念だったが膝の上で弾く指弾や、一本の糸で33ヶ所のツボ(勘所)を使い60数種の弾き方で四季を表現するなど充実した内容で、大変好評だった。これは、全国でも珍しい試み。来年もまた古典から現代曲・童謡・唱歌・民謡など新しい試みに挑戦していきたい。
会場	かるぽーと9階和室	入場者 40人	
主催	一絃琴わくら和遊紅会／松本遊紅		

行事名	第42回スプリングコンサート		
日・時	4月30日(月) 14:00~16:20		ステージは、クラシック・ビックバンドジャズ・ポピュラーと3部構成で、年代、好みを問わず、楽しんでいただけるステージを目指した。その甲斐あってか、ここ数年で最も入場数が多く大成功だったと思う。ただ、演奏・演出などは、まだまだ不十分な点も多く、より良い演奏会となるよう、これからも頑張っていきたい。
会場	県民文化ホール(オ)	入場者 982人	
主催	土佐中・高等学校吹奏楽部／川崎仁哉		

行事名	三曲演奏会		
日・時	5月6日(日) 13:00~16:00		今年は、ゲストに絃方奏者山登松和・松村エリナ、尺八奏者徳丸十盟の各師を招聘、充実した舞台となった。演奏曲は協会会員提曲6曲、協会提曲2曲、ゲスト曲4曲の計12曲で古典曲4曲、新曲・現代曲8曲とバランスのとれた曲構成であった。来場者からも曲構成・演奏内容ともに評価の声が多く寄せられ、入場者も満席に近い状態で盛会であった。
会場	県民文化ホール(グ)	入場者 449人	
主催	高知県三曲協会／森尾靖峰		

## 音楽部門(2)

行事名	秀鳳流春季吟詠練成大会		
日・時	5月13日(日) 9:00~17:00		第57回目となる秀鳳流吟詠練成大会・第32回優勝旗争奪春季競吟大会は、好天に恵まれ無事終了。本年度は、式典で松尾元高知市長に秀鳳流日本吟詠会の後援会長になっていただき初めてご参加いただいた。また、特別企画として「現代吟詠と舞の祭典」と題し、水心流剣詩舞道弘道館の林霊山さんはじめ、県下の舞の先生方と懇親を深めた有意義な会であった。
会場	高知プリンスホテル	入場者 340人	
主催	秀鳳流日本吟詠会／野中秀鳳		

行事名	当道音楽会第23回箏曲演奏会		
日・時	5月13日(金) 12:30~16:00		日頃力を合わせて稽古したことを発表し、多くの県民の皆様に聴いていただき、演奏者と会場の方々が一つになることができ、感激・感動を覚えた。演奏会は無料で、来場しやすく、喜んで聴いていただけたことをうれしく思う。今後とも、明るい演奏を目指していきたい。
会場	県民文化ホール(グ)	入場者 421人	
主催	当道音楽会高知支部／菊由瀬育子		

行事名	Tutti8th&音のみち6thジョイントコンサート		
日・時	5月18日(金) 19:00~21:00		集客数に若干の問題はあるが、演奏力・内容共に、充実してきたと思う。また、今回のコンサートでは多くの学生に来ていただいたこともあり、芸術的観点はもちろん、教育的観点からも意味のあるコンサートになったと思う。今後は、集客・内容共に、より一層充実したものになるよう努力していきたい。
会場	県立美術館ホール	入場者 100人	
主催	Tutti, 音のみち／川添建太郎		

行事名	正曲一絃琴白鷺会演奏会		
日・時	5月19日(土) 13:00~15:00		秋沢久寿栄師没後40年記念演奏会。昭和25年4月に現在の白鷺会発足後、後進の指導に生涯をかけられ、昭和43年1月に亡くなられた。長い人生を一絃琴のために力を注いで下さった師に、心からの感謝の念をこめ今年の演奏会とした。生きて在らば125歳、命の尊さを会員一同改めて教えられる。意味深い演奏会であった。
会場	かるぽーと小ホール	入場者 112人	
主催	正曲一絃琴白鷺会／近森律子		

行事名	高知県吟剣詩舞道総連盟春季競吟大会		
日・時	5月20日(日) 9:00~16:00		本年度は各ランクとも接戦だった。本大会は、東は東洋町から西は土佐清水までの吟剣詩舞の愛好家1500余名が予選を勝ち抜き、幼少年4名・D7組11名・D組28名・C7組8名・C組17名・B組21名、ベテランのA組37名と、それぞれ優勝旗・優秀カップを競い合う。毎年思うことであるが、日本人の本当の心を吟詠することで、少しでもこの世の中が清浄されればよいのですが。
会場	高新RKCホール	入場者 370人	
主催	高知県吟剣詩舞道総連盟／野中秀鳳		

行事名	第8回郷土民謡土佐ふみの会発表会		
日・時	5月27日(日) 12:30~16:00		本年も日本民謡の数々を、三味線・尺八・太鼓等、日本の楽器で楽しく演奏し、歌って踊って楽しい一日となった。また、微力ながら「森と緑の会」へのカンパもできた。高齢者の多い団体ですが、民謡を通じて会員一同頑張って生涯学習ができることが最高の喜びです。
会場	県民文化ホール(グ)	入場者 430人	
主催	土佐ふみの会／黒川二子		

## 音楽部門(3)

行事名	第16回高知県市民バンド連合演奏会			
日・時	5月27日(日) 13:30~16:00		本公演は、その目的である市民バンド間の交流とその紹介、また吹奏楽の普及に加え、新たに市民参加型のステージを達成できたと確信している。社会人となって器楽演奏から遠ざかっている市民に楽しんでいただくとともに、当日だけでも演奏者として復活し、また再び始動する契機としていただいた方もいるようだ。今後もこういった活動を継続することが重要と考えている。	
会場	かるぽーと大ホール	入場者		400人
主催	高知県市民バンド連合会／大野恭平			

行事名	高知県ピアノ指導者協会創立25周年記念事業小曾根真ピアノコンサート			
日・時	5月27日(日) 14:30~16:30・18:30~20:30		高知県下だけでなく県外からもお客様をお迎えし、昼夜とも満席の中で熱気あふれるコンサートであった。幼児から年長者まで幅広い客層であったが、小曾根氏の音の世界に引き込まれ素晴らしいコンサートとなった。また、小曾根氏の軽妙なトークも楽しく、和気藹々とした時間が過ごせた。	
会場	県立美術館ホール	入場者		800人
主催	(社)全日本ピアノ指導者協会高知県支部／住友弘一			

行事名	やいろ吹奏楽団第12回定期演奏会			
日・時	6月9日(土) 18:00~21:00		今年より音楽監督(指揮者)として熱田昭夫氏を迎え、気持ちも新たに取り組んできた。今回の演奏会は1・2部クラシック、3部ポップスの3部構成で様々な曲目11曲を披露。アンケートには、演奏内容に対する評価、選曲への要望、印象に残った点などが書かれており今後の活動の糧としたい。	
会場	県民文化ホール(オ)	入場者		681人
主催	やいろ吹奏楽団／永野哲彦			

行事名	混声合唱団Pange第4回定期演奏会			
日・時	6月9日(土) 18:30~20:30		今回の演奏会は、プログラムが多彩で、若者から年配の方まで楽しんでいただけたようだが、公演時間が長いという声もあったので、今回はこの点を考慮した内容にしたい。	
会場	県立美術館ホール	入場者		367人
主催	混声合唱団Pange／坂本雅代			

行事名	第34回ふるさと民謡民舞三味線まつり			
日・時	6月10日(日) 12:00~16:00		太古の昔から地域に根ざした貴重な文化財である民謡を34年間、老いも若きも、男女共に、唄い続けてきた。今回は、会場が遠く、初めてだったので、交通の便が良くなかった。来年は、35周年を迎えるので、皆ではりきっている。これからも子孫へと残していきたい。	
会場	弥右衛門ふれあいセンター	入場者		80人
主催	高知県本條民謡連合会／本條謡朋			

行事名	土佐一絃琴同好会演奏会			
日・時	6月10日(日) 13:30~15:30		今回は、プログラムに子守唄を入れたことにより、入場者全員参加の場を持つことができた。また、曲目の説明と共に小袖貝の実物を見てもらえたことも良かった。一方、予想外に大勢の参加者があり、一絃琴を知ってもらうという点ではよかったが、人が通路にまで溢れ記念館に迷惑をかけた。今後、会場・設営等について考慮すると共に、なお一層励みたい。	
会場	龍馬の生まれたまち記念館	入場者		60人
主催	土佐一絃琴同好会／高木美智			

## 音楽部門(4)

行事名	大正琴アンサンブルあじさい会発表会		
日・時	6月17日(日) 13:00~16:00		
会場	県民文化ホール(グ)	入場者	386人
主催	大正琴あじさい会／川島節子		

今回で14回となる「大正琴あじさい会」も無事終了、室戸・赤岡・高知の生徒さんたちと1年間の練習の成果を発表することができた。「生命の基金」にも大勢のお客様から寄付をいただいた。また、平成11年に、故泉菊与さん御家族がピッツバーグに贈られた市松人形の修復という大きな事業も無事終了することができた。

行事名	高知マンドリン土曜日会第38回定期演奏会		
日・時	6月23日(土) 18:00~20:30		
会場	かるぽーと大ホール	入場者	450人
主催	高知マンドリン土曜日会／川村文隆		

今回は訪独記念公演ということでドイツへの演奏旅行のスライド放映や、インタビューも交え、これまでにない構成で行った。また外部から森充子先生を指揮者に招いたことも新しい試みである。観客の評価は概ね好評だったが、インタビューが長すぎたり、スライドの文字が不鮮明だったこと、賛助出演者との練習が不十分だったことなどが、反省点としてあげられる。

行事名	第48回高知県合唱祭		
日・時	6月24日(日) 10:00~16:00		
会場	かるぽーと大ホール	入場者	688人
主催	高知県合唱連盟／谷村泰久		

内容的には、ワークショップの合同演奏発表等もあり、出演者・入場者ともに楽しんでもらえたようだ。しかし、準備不足で開演前までバタバタし、ホールの方に迷惑をかけたり、アナウンスを担当する高校生の練習不足等、来年に向けて対応を検討したい。

行事名	第4回和太鼓・志鼓俱「自然の響」演奏会		
日・時	6月24日(日) 13:30~14:30		
会場	牧野植物園内階段広場	入場者	150人
主催	和太鼓・志鼓俱／井上博文		

生憎の雨にも関わらず、今日のために県外から駆けつけてくださった方・常連の方・観光中の方・初めて来られた方々、述べ150人以上のお客様に囲まれ、最後まで自分達の思いを込めた演奏ができ、とても幸せだった。「感動した!!良かった!!次も来ます!!」と多くのご感想もいただき、私たちも更なる努力を重ね頑張りたい。

行事名	グループ「し〜ずん」15周年記念コンサート		
日・時	6月29日(金) 19:00~20:45		
会場	県立美術館ホール	入場者	406人
主催	グループ「し〜ずん」／門田綾子		

結成15年の記念すべきコンサートとなった。ゲストに大八奏者で作曲家の宮田耕八朗先生や声楽家の小林好恵先生を招き、客席からざわめきと拍手が起きた。また、渡辺治子や吉井美賀・服部牧人らの演奏も見事だったとの声がたくさん届いた。最後に門田綾子が演奏した後、アンコール曲を「し〜ずん」の伴奏でお客様と一緒に歌い、舞台と一体となって満席の会場に歌声が響き渡った。

## 舞踊部門(1)

行事名	水心流弘道館剣詩舞道大会		
日・時	4月7日(土) 13:00~20:00		
会場	自由民権記念館	入場者	120人
主催	水心流弘道館／柿本霊容		

剣詩舞の大会を始めて早いもので25年。その間、二代目宗家の遷化、水心流弘道館の設立、館長も私で四代目となった。毎年春の大会では、昇段者の紹介、本年度の中四国大会への練習も兼ねての大会で、出場者も力の入れようが普段とは違うように感じる。本年度は、11月に本県で中四国剣詩舞道大会が6年ぶりに開催されることもあり一層力が入る。

行事名	第26回坂東流はなぶさ会舞踊発表会		
日・時	4月29日(日) 13:00~		
会場	県民文化ホール(グ)	入場者	313人
主催	坂東流はなぶさ会／坂東英		

26回目になる「はなぶさ会」ですが、昨年あたりから客筋が違って来たようだ。例年なら、ごひいきの踊りが終わるとさっさと帰っていたのが、序幕から千秋楽まで見て下さる方が多くなって来た。20歳代から30歳代の門下生が増えて来たことが影響していると思われる。高齢化とは裏腹な現象が「はなぶさ会」では見られる。また、来年に向けて頑張る。

行事名	一の宮咲子バレエ研究所第33回発表会		
日・時	5月6日(日) 13:00~16:00・18:00~21:00		
会場	県民文化ホール(オ)	入場者	2,480人
主催	一の宮咲子バレエ研究所／一の宮咲子		

今回は開催日が大型連休最終日と重なり、当初集客の心配もあったが、昼夜2回公演で、約2,500名の方に来場していただき、大きなトラブルもなく無事に終了できた。ただ、これからは、発表会を日々の練習の成果を観ていただくだけの場としてではなく、その他たくさんのことの学びの場として創り上げ、教えていきたいと考えている。

行事名	歌謡・民謡舞踊の舞緒香会		
日・時	5月12日(土) 11:00~16:30		
会場	県民文化ホール(グ)	入場者	490人
主催	藤間流舞緒香会／小野兎喜子		

私たちの会は高齢者の健康と生きがいのための会で、年に一度のこの会を目標に頑張っている。家族の方々も元氣な姿に大変喜ばれていた。私たちの活動が、芸術文化の向上と高齢者の生きがい、健康の増進に役立てば大変幸せだ。今後もますます元氣で良い発表ができるよう努力していきたい。

行事名	浜田悦子バレエ研究所35周年記念発表会		
日・時	5月13日(日) 12:30~16:00		
会場	かるぽーと大ホール	入場者	800人
主催	浜田悦子バレエ研究所／浜田悦子		

35周年ということで、内容がふくらみ例年より30分早い開催でお客様にはご迷惑をおかけしたが、最後まで熱心に観ていただき、大変楽しく見ごたえがあったとの感想をいただいた。全幕物で、大道具も多く、ばらしに時間がかかり、裏は大忙しだったが、その分観客には楽しんでもらえたようだ。初めてのコンテンポラリーにも挑戦して、生徒達も沢山の勉強をさせてもらった。

行事名	35周年記念内山時江ダンスシアター「わが胸のほむら」-ア・ナ・タPart II-		
日・時	5月19日(土) 18:00~19:30 20日(日) 15:00~16:30		
会場	内山時江モダンバレエ研究所	入場者	171人
主催	内山時江モダンバレエ研究所／内山時江		

35周年に、全国に散らばる弟子たち9人が馳せ参し、それぞれが高い技術と群舞の楽しさを見せてくれた。スタジオは、満員の盛況で熱気むんむん。小品7本による記念プログラムの最後を務めたのが、内山時江。この作品のサブタイトルである「ア・ナ・タPart II」は、三年前に他界した夫への「まだ元氣に踊っています」というメッセージであり、今後も踊り続けようという覚悟の表れであった。

## 舞踊部門(2)

行事名	第52回白鷺おどり		
日・時	5月20日(日) 11:00~17:00		
会場	かるぽーと大ホール	入場者	800人
主催	高知県日本舞踊協会／花柳昌延		

今年は、現任第一線で活躍中の若手からベテランまでが出演、活気ある会となった。注目のコンクールは、舞踊評論家の杉昌郎氏を招聘。その結果、白鷺会賞は「獅子の乱曲」の若柳智寿梨生、「浦島」の花柳延和子、特別賞「四季の山姥」若柳由喜乃、努力賞「紺蛇の目」花柳昌紅志、高知新聞社賞・新人賞に「鶴」花柳宵千種と決定。今後共、次代舞踊家育成に全力をかけた。

行事名	高知社交ダンス愛好会演技発表会		
日・時	6月17日(日) 13:00~16:00		
会場	旭文化センター	入場者	121人
主催	高知社交ダンス愛好会／尾崎比佐子		

内容的にも技術的にも昨年を上回る発表会であった。特に、高齢者の皆さんが元気に参加し、楽しい喜びの発表会であった。参加者の中で現在82歳のご婦人がタンゴを踊る姿に、皆さんの感動を呼んだ。皆さんに、踊る楽しさや生きる希望を与えることができたと確信している。次は、30周年記念を目指し、多くの市民の参加と技術の向上に向けて、更なる努力を重ねてまいります。

行事名	モダンダンス伊野友美子舞踊研究所公演「弦月」		
日・時	6月23日(土) 18:00~20:00		
会場	県立美術館ホール	入場者	320人
主催	モダンダンス伊野友美子舞踊研究所／伊野友美子		

5歳から68歳までの演者が舞台上に立ち、それぞれの表現が出来ることはモダンダンスならではの自負している。毎回、初めて見たという声を聞き、モダンダンスが舞踊の中で占める割合を考えさせられ、これからも表現し広域に亘り、モダンダンスを浸透できたらと願っている。

行事名	第52回立脇バレエ発表会		
日・時	6月23日(土) 6:00~9:00 24日(日) 13:00~16:00		
会場	県民文化ホール(オ)	入場者	2,500人
主催	立脇千賀子バレエ研究所／立脇千賀子		

一年間の練習の成果を発表する場として、生徒たちは素晴らしい上達をしていたと思う。プログラムの構成が非常に良く、観客の心をつかめ、最後まで興味を持って見ていただけた。子供たちにとって暗いニュースの多い毎日、美しいものを見ては美しい、うれしいことがあれば素直に喜べる人間形成を、バレエの世界で一緒に育てていきたいと子供たちに呼びかけている。

行事名	第3回かなるスタジオカーニバル		
日・時	6月30日(土) 19:15~20:45		
会場	県立美術館ホール	入場者	386人
主催	カナルスタジオ／瀬川佳津江		

今回は、体操や空手の試合と日程が近く、昨年に比べて会員の参加は減ってしまったが、芸術幼稚園やこども社会保険センターから、子供たちが多く参加して、楽しい舞台ができた。子供たちの一生懸命さに手拍子や声援、また、体操や空手の演技には「おっ!!」という感嘆の声も聞こえてきた。子供たちには年に一度のこの舞台がとても良い経験になっていると感じる。

## 展示部門

行事名	<b>第59回高知市文化祭参加「春のいけばな展」</b>		
日・時	4月20日(金)～22日(日) 10:00～18:00 最終日は16時		会場は、新緑と華やいだ色彩が充実した春を演出。「目だけではなく全身の保養となりました。来た甲斐がありました」という男性、また、お孫さん連れの方が、「孫が自分の部屋に花を飾りたいと言い、これから花屋さんに行きます」と目を細めておられた。大勢のお客様をお迎えでき、会員一同、時と流れを見つめつつ、より一層深く勉強して参りたいと思っている。
会場	かるぽーと第1・第2展示室	入場者 4,250人	
主催	社団法人高知県華道協和会／北村光甫		

行事名	<b>高知ばら会春のばら展2007</b>		
日・時	5月11日(金)～13日(日) 10:00～18:00 (初日は11時より最終日は16時まで)		展示花出品数374本と会員の出品数は昨年より多く、入場者数も2000人を超え盛況であった(過去2番目の多さ)。コンテストでは、新人賞を創設、全9賞を表彰した。アンケート結果では、「毎年楽しみにしている」とのご意見が多かった。近年のガーデニングブームで、ばらへの感心も高まっているようで、ばらを通じて、市民の文化向上に寄与していきたいと思っている。
会場	新京橋プラザ	入場者 2,155人	
主催	高知ばら会／森岡清		

行事名	<b>第31回さつき花季展覧会</b>		
日・時	5月24日(木)～27日(日) 9:00～17:00		今年度の展覧会は例年より一週間遅れの開催になったため、さつきの花は、大変立派に咲いた。来場者の方々は、さつき盆栽の一鉢の樹に色々な花柄の花が咲く姿に感動したり驚いたり、とても楽しいひと時を過ごされたと思う。会員の盆栽に対する技術も年々向上し、会場には立派な盆樹がたくさん飾られるようになってきている。
会場	県立牧野富太郎記念館	入場者 1,500人	
主催	高知県さつき愛好会／斎藤俊和		

## 文芸部門

行事名	<b>第37回総合文芸展</b>			
日・時	5月8日(火)～13日(日) 10:00～17:00		会場の壁面には、高知ペンクラブ会員の作品を中心に、短歌・俳句・詩・川柳の作品、約50点が趣向をこらして展示された。また昨年同様、紙芝居の絵文字が壁面の一面いっぱい展示され、会場に彩りを添えた。陳列ケースには、高知ペンクラブの刊行誌のほか、会員の出版した著書や同人誌なども展示され、鑑賞者の目を引いていた。今年は、内容がいっそう充実し成功であった。	
会場	かるぽーと第4展示室	入場者		463人
主催	高知ペンクラブ／高橋正			

行事名	<b>第36回高知県俳句大会</b>			
日・時	5月27日(日) 9:00～17:00		今回は、会員減少のなかで、約40%近くの参加(160名)があり、日頃の研鑽を示し合い、親睦を深めた。午前中は募集句のうち優秀作品の表彰と講評を、午後は参加者全員の相選句会及び顕彰を行った。年々、会員と募集句が減少しており、運営が厳しくなっているが、当連盟は他県に例をみない伝統系・現代系が協力しあい、俳句文化に努めている。	
会場	高新文化ホール	入場者		160人
主催	高知県俳句連盟／橋田憲明			

行事名	<b>平成19年度帆傘川柳大会</b>			
日・時	6月24日(日) 10:30～17:40		出席者は例年よりやや多く、運営も円滑にでき出席者の満足度は高いものとする。比較的若手の活躍が目立ったのも、今年の良かった点の一つである。また、県外、他川柳社の選者により、内容の濃い大会となった。急死した竹村温夫前会長の追悼大会を兼ねての開催であったが、その目的は十分に達成できた。	
会場	高知県文教会館5Fホール	入場者		90人
主催	帆傘川柳社／小笠原望			

## その他部門

行事名	<b>香を楽しむ</b>		
日・時	4月22日(日) 10:00~12:00・13:00~15:00		今回は、日本三景をテーマにした三景香を行った。前日からの天候不順と選挙が重なり、参加者は少なかったが、日常と離れた雅な時間を持てたことを喜んでいただけた。今後共、伝統文化である香道を知っていただくために会員一同努力していきたい。
会場	寺田寅彦記念館	入場者 60人	
主催	香道古心流土佐伽羅の会／藤本淑峰		

行事名	<b>第33回高知市教育長杯かるた大会</b>		
日・時	6月24日(日) 9:00~16:00		毎年、小中高生を対象とし、今年で33回目を数えました。今大会は、例年よりも参加者が少なかったため、来年度は各学校の試験・行事予定等も調べて開催日を決定します。また本県では、かるたクラブのある学校はほとんどなく、特に中高生の競技人口が少ないので、引き続き練習会や大会を行って競技かるたの普及を進めたいと考えています。
会場	南部健康福祉センター	入場者 20人	
主催	高知かるた会／吉本健二		

行事名	<b>第11回三里友の会文化祭</b>		
日・時	5月13日~6月24日 全6行事		今回で文化祭も11回となり、各サークルの出場も多くなり充実したものになった。この文化を守り、ますます発展できるように、さらに努力していきたい。
会場	三里文化会館	入場者 1,400人	
主催	三里文化推進友の会／坂本美代子		

行事名	<b>参加興行映画</b>		
日・時	4月1日~6月30日 全5作品		文化祭に相応しい作品として、外国映画の「バベル」(4/28~)、「アポカリプト」(6/16~)を、日本映画からは、「東京タワー オカンとボクと、時々、オトン」(4/14~)、「眉山」(5/12~)、「俺は、君のためにこそ死ににいく」(5/12~)の計5本を参加作品とした。
会場	TOHOシネマズ高知	入場者 20,046人	
主催	高知県興行生活衛生同業組合／友永雄一		